

Newsletter

—学会会報—

The Japanese Society for Curriculum Studies

発行：日本カリキュラム学会事務局本部

〈目次〉

〈理事会報告〉

- I 各種委員会報告
- II 事務局報告
- III 審議事項

〈総会報告〉

- I 第 22 回大会年度（2011 年度）決算報告の修正と、それに伴う第 23 回大会年度（2012 年度）予算案の修正
- II 第 23 回大会年度(2012 年度)決算報告
- III 第 24 回大会年度(2013 年度)活動方針
- IV 学会研究奨励賞規定の改正について
- V 第 25 回(2014 年)大会開催校について

〈第 24 回大会報告〉

〈紀要編集委員会からのお知らせ〉

〈広報委員会からのお知らせ〉

〈事務局からのお知らせ〉

— 〈 理事会報告 〉 —

[2013 年 7 月 5 日(金) 17:00~18:50 (於)町家交流館高田小町]

定例の理事会が 7 月 7 日(金)午後 5 時から 6 時 50 分まで、新潟県上越市の町家交流館高田小町で開催されました。理事 16 名、大会開催校関係者 2 名、および事務局 2 名が参加しました。水原克敏代表理事挨拶、大会開催校（上越教育大学）の瀬戸健実行委員長の挨拶に続き、下記の議題を審議・決定しました。

I. 各種委員会報告

(1) 紀要編集委員会（八尾坂委員長）

『カリキュラム研究』第 22 号の論文審査（15 件受理、4 件掲載）、図書紹介、公開シンポジウム・課題研究報告）について、報告がなされた。

(2) 国際交流委員会報告（磯田委員長）

「海外カリキュラム情報」の翻訳、および課題研究の準備を進めている。

(3) 広報委員会報告（村川委員）

一昨年度は岩手で、昨年度は千葉カリキュラム学会と共催で2月に実施した。今年度は、大阪府教育センターと共催で通算第3回目の連携事業を実施する予定である（詳細は viii 頁）。特色ある学校カリキュラムの収集については検討中である。

(4) 研究委員会報告（西岡委員）

既報の通り、3月23日に第4回研究集会（発表2件）を開催した。大会の課題研究は4件、うち1件は国際交流委員会が担当する。なお、会員外の登壇者には旅費を支払う予定である。

(5) 研究奨励賞審査委員会報告（八尾坂委員長）

理事からの被推薦論文がなかったため、該当者はなかった。

(6) カリキュラム事典検討委員会報告（磯田委員長）

現理事会の任期中に結論を出す見込みで進めている。予算がなく、持ち回りで会議を実施している。前回の事典編集時と比較して、事典作成にはかなりのコストがかかるという意見が出されている。仮に刊行する場合、紙媒体か電子媒体か、刊行形態も検討する必要がある。編集に際し、これまでの課題研究の蓄積を活用すること、新しいテーマ設定を行うことなども含め、複数の論点で議論が進められている。大会期間中に委員会を開催する予定である。

II. 事務局報告

(1) 会計監査について

6月16日（日）、会計処理を委託している国際文献社において、吉富芳正委員、桐谷正信委員の両監査と事務局立ち会いの下、監査業務を行った。昨年度より指摘され続けている、理事会等に関する旅費請求は領収書を要することについて改めて強く指摘を受けたこと、及び大会会計に対する監査の必要性に関する指摘がそれぞれあった。これらを受け、代表理事より、領収書の提示及び所定期間内の請求について協力するよう、全理事に依頼があった。

(2) 次期理事・代表理事選挙について

今後の日程の概要を報告した。詳細は11月の理事会で検討する。

III. 審議事項

(1) 総会議事について

① 2012年度活動報告・決算（案）および2013年度活動方針・予算（案）について

標記について、事務局より提案がなされ、検討が行われた。

・会員現況概要：会員総数735名（一般635名、学生91名、団体9件。うち、連絡先不明者6名、会費未納による会員資格停止者56名を含む）、新入会員27名。会費納入率95.5%（昨年度85.4%）。

・学会誌『カリキュラム研究』第22号発行。会報「ニューズレター」第58号、59号、60号発行。会報は順次HPにも掲載。

- ・2011年度決算報告、2012年度予算案の修正を総会に提案する。
- ・2013年度予算について、a)「大会経費」を「大会補助費」へと改める、b)「ホームページ運用委託費」を新規計上する（45万円：含む初年度リニューアル経費）、c)各種委員会の経費を増額すること等が、それぞれ承認された。大会会計収支の改善に伴い、大会参加費の値下げ等、会員への還元策を今後検討する。

(2) 教育関連学会連絡協議会結成総会報告

代表理事より説明がなされ、同協議会に参加することを確認した。あわせて同協議会の年会費1万円を、予算案に計上し、総会に諮ることとした。

(3) 「日本カリキュラム学会研究奨励賞 規程」の改正

研究奨励賞審査委員会の八尾坂委員長より、資料にもとづき、規程7の(2)改正の提案がなされた。議論を経て、現行2名以上の理事による推薦要件を1名以上へと変更することが承認され、総会で提案することになった。

(4) 次期大会開催校について

次年度の第25回大会は関西大学で開催するとの代表理事原案が承認された。詳細については、11月の理事会で決定する予定である。

—— 〈 総会報告 〉 ——

2013年7月7日(日)、12時30分から13時30分まで、上越教育大学講義棟301室において、瀬戸健会員（上越教育大学）、安藤輝次会員（関西大学）を議長団として、総会が開催された。これにおいて、7月5日の理事会で承認された議案が、すべて承認された。

I. 第22回大会年度（2011年度）決算報告の修正と、それに伴う第23回大会年度（2012年度）予算案の修正

①前回大会（第23回大会）において総会で承認を受けた第22回大会年度（2011年度）の決算について、a. 第22回大会経費の事務局への残金返金が決算報告書に計上されていないこと、b. 外部委託先による第22回大会年度の会計処理の照査の結果、余剰金が発見され、これを前年度繰越金に計上することになった。これらを踏まえ、第22回大会年度の決算を修正、再監査を行い、報告した（修正箇所を下線部で示す）。

第22回大会年度（2011年度）決算報告（2011年4月1日～2012年3月31日）

収入の部

項目	予算額（円）	決算額（円）
学会年会費	3,700,000	3,791,000
入会金	80,000	52,000
学会誌代・雑収入・利子等	150,000	64,598
<u>第22回大会経費残金返金</u>		<u>24,865</u>

事務局経費	450,000	事務局移転費用を含む
事務局外部委託費	1,500,000	初年度委託費用 20 万を含む
財) 日本学術協力財団賛助会費	50,000	
各種委員会経費		
紀要編集委員会	300,000	
広報委員会	100,000	
国際交流委員会	100,000	
研究委員会	100,000	
学会奨励賞審査委員会	150,000	
カリキュラム事典編集委員会	200,000	準備委員会経費も含む
(小計)	950,000	
予備費	<u>178,850</u>	
合計	<u>5,128,850</u>	

II. 第 23 回大会年度 (2012 年度) 決算報告 (2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

収入の部

項目	予算額 (円)	決算額 (円)
学会年会費	4,470,000	6,009,000
入会金	80,000	84,000
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	72,066
第 23 回大会経費残金返金	0	201,585
寄付	0	0
前年度繰越金	548,850	548,850
合計	5,128,850	6,915,501

支出の部

項目	予算額 (円)	決算額 (円)
第 23 回大会経費	650,000	650,000
第 22 号紀要刊行費	550,000	408,200
学会研究奨励賞費	0	0
会合費 (含む交通費)	800,000	777,508
事務局経費	450,000	327,297
事務局外部委託費	1,500,000	1,447,997
財) 日本学術協力財団賛助会費	50,000	50,000
各種委員会経費		
紀要編集委員会	300,000	262,331
広報委員会	100,000	83,300
国際交流委員会	100,000	42,858
研究委員会	100,000	124,540
学会奨励賞審査委員会	150,000	0
カリキュラム事典編集準備委員会	200,000	173,180
(小計)	950,000	686,209
予備費	178,850	95,032
次年度繰越金	0	2,473,258
合計	5,128,850	6,915,501

III. 第 24 回大会年度 (2013 年度) 活動方針

(1) 一般方針

1. 年次大会（第24回大会）の実施
2. 第25回大会の準備
3. 学会誌『カリキュラム研究』第23号発行
4. 学会研究奨励賞
5. 研究集会の開催
6. 会報、その他の広報活動
7. 会員勧誘

(2) 第24回大会年度予算（2013年4月1日～2014年3月31日）

収入の部

項目	予算額（円）	備考
学会年会費	5,062,500	納入率90%で積算
入会金	60,000	30名見込み
学会誌代・雑収入・利子等	30,000	
寄付	0	
前年度繰越金	2,473,258	
合計	7,625,758	

支出の部

項目	予算額（円）	
第24回大会補助費	650,000	
第23号紀要刊行費	550,000	
学会研究奨励賞費	0	今年度該当者なし
会合費（含む交通費）	900,000	
事務局経費	450,000	
事務局外部委託費	1,200,000	
ホームページ運用委託費	450,000	初年度リニューアル経費を含む
理事選挙・代表理事選挙準備費	10,000	
財）日本学術協力財団賛助会費	50,000	
教育関連学会連絡協議会会費	10,000	
各種委員会経費		
紀要編集委員会	300,000	
広報委員会	200,000	
国際交流委員会	200,000	
研究委員会	200,000	
学会奨励賞審査委員会	150,000	
カリキュラム事典検討委員会	200,000	
（小計）	1,250,000	
予備費	2,105,758	
合計	7,625,758	

IV. 学会研究奨励賞規定の改正について

「7 審査方法」につき、以下の点が改正された。

(旧) (2) 選考は、被推薦論文ないし著書の中から、2名以上の理事が推薦したもの（以下、

被選考論文という) について行う。

(新) (2) 選考は、理事が推薦したもの (以下、被選考論文という) について行う。

なお、本改正は 2013 年 7 月 7 日改正、発効とする。

V. 第 25 回大会(2014 年)開催校について

次期大会は関西大学において開催されることが承認された。

— 〈 第 24 回大会報告 〉 —

日本カリキュラム学会第 24 回大会を、7 月 5 日から 7 日にかけて上越教育大学で開催いたしました。平成 26 年春に開業となる北陸新幹線の最終盤の工事が進む中、在来線へと乗り継いでの上越は、かなり遠くに感じられたことでしょうか。それでも、全国から 150 名を越える方々の大会参加をいただき、スタッフ一同大変喜んでおります。

自由研究発表は 43 件、のべ 12 部会で行いました。発表数は多くなかったのですが、各会場とも質の高い発表であったとの声が聞かれ活発な討論が交わされました。

本大会の課題研究 4 つは、西岡加名恵・佐藤真コーディネーターによる「社会の変化に対応して育成すべき資質・能力とカリキュラム開発」、磯田文雄・池野範男コーディネーターによる「後期中等教育のカリキュラム改革の動向」、澤田稔・田中耕治コーディネーターによる「民主主義社会の(再)構築に向けたカリキュラム論の探究(2):その実践はいかにして可能か?」、天笠茂・田村知子コーディネーターによる「区市町村教育委員会とカリキュラム開発をめぐる課題」のテーマで実施されました。

公開シンポジウムは、「よい教師をつくるカリキュラムとは—大学と教育現場をつなぐ視点から—」をテーマに、実践的指導力の育成を一つの切り口としながら、昨年 8 月の中教審答申やその後の政権交代、新たな政策の動向などもふまえ、今後の教員養成の課題や方向性について熱心な討議がなされました。

会員の皆様の協力をいただきながら、なんとか大会を無事に終えることができました。大会を支えてくださった実行委員の方々、手伝ってくれたのべ 50 名を越える大学院生のみなさん、その他ご支援いただいたすべての方に心よりお礼を申し上げます。

[上越教育大学:瀬戸 健]

— 〈 紀要編集委員会からのお知らせ 〉 —

紀要 23 号の論文投稿につきまして、送付先が下記に変更になります。

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷広沢 1 愛知教育大学・教職大学院 (日本カリキュラム学会・紀要編集事務局) 倉本哲男研究室

投稿締め切りは 9 月 30 日(当日消印有効) です。投稿要領、投稿に関する諸注意は紀要 22 号

[投稿にあたっての注意]と裏表紙の[投稿要領](いずれもホームページに掲載)をご覧ください。
会員皆様の積極的なご投稿をお待ちしております。

— 〈 広報委員会からのお知らせ 〉 —

理事会報告にもありますように、2013年12月25日(水)於：大阪府教育センターにて、平成25年度大阪府教育センター研究フォーラムを日本カリキュラム学会と共催で行う準備を進めています。詳細が決まり次第、学会ホームページ等でご案内いたします。多数のご参加をお待ちしております。
[広報委員会委員長：工藤文三]

— 〈 事務局からのお知らせ 〉 —

(1)第22回大会年度(2011年度)決算書修正の経緯につきまして

総会報告Iにおいて修正を報告、承認を受けました第22回大会年度の決算の修正の詳細についてご報告いたします。

a.第23回大会年度(2012年7月)の大会総会時にお示した「第22回大会年度(2011年度)決算報告」の「第22回大会経費」につきまして、予算65万、決算775,135円とご報告いたしました。その後、ご指摘を受けまして、実際には前年度までの大会経費予算実績に基づき、2010年内に80万円を前事務局より第22回大会実行委員会(北海道大学)に送金済みであったことが判明しました。しかし、第22回の大会総会時に急遽予算が65万円に決定し、結果的に、送金済み金額と決算報告の予算額が不一致な状況になっておりました。さらに、第22回大会実行委員会より24,865円を事務局に返金して頂いておりましたが、大会経費残金は決算表に反映してこなかったという先例もあり、総じて第22回大会経費の収支が正確に決算報告に反映されておりました。

震災直後で運営に困難極まる中、第22回大会実行委員会には多大なる尽力をいただき、ご返金を賜ったことを、ここにご報告させていただきます。

b.会計処理は外部委託先に一任しておりますが、第23回大会(2012年度)の決算を照査してもらったところ、その過程で余剰金が発見されました。過去の事務局の所有していた会計簿等を徹底的に遡及してもらったのですが、発生源は不明でした。最終的に、事務局と監査との協議の上、2011年度の収入の部における「前年度繰越金」に反映させました。

なお、修正前の第22回大会年度の決算書と第23回大会年度の予算につきましては、お手数ですが「ニュースレター」No.59号をご参照下さい。

今後、会計の一層の明朗化に努めて参りますので、ご理解、ご協力のほど、お願い申し上げます。

(2)2013年度分会費納入のお願い

大会も無事終了し、年度の半ばとなりました。今年度分の年会費が未納の方は、納入をお願いします。会員のみなさまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

4年間の会費未納で強制退会、2010年度～2012年度の3年間または2011年度～2012年度の2年間の会費を滞納しますと会員資格一時停止者となります。学会誌が送付されなくなり同時に、大会での発表資格・学会誌への投稿資格を失いますので、ご注意願います。

会費納入状況につき、ご不明の点がございましたら、些細な点でも結構ですので、末尾にあります日本カリキュラム学会会員窓口までお問い合わせください。よろしくお願い致します。

(3) 寄贈図書一覧 (2013年4月1日～2013年8月30日 事務局到着分)

本学会事務局本部に寄贈いただいた図書について、下記の通りご報告いたします。

	書名	著者	出版社	奥付日付
1	近代日本におけるプロジェクト・メソッドの受容	遠座知恵	風間書房	2013年 2月28日
2	教育思想史で読む現代教育	森田尚人・森田伸子(編著)	勁草書房	3月25日
3	未来の大学教員を育てる ー京大文学部・プレFDの挑戦	田口真奈・出口康夫・京都大学高等教育開発推進センター	勁草書房	3月25日
4	リスク社会の授業づくり	子安潤	白澤社	5月10日
5	民主主義への教育 ー学びのシニズムを超えて	上野正道	東京大学出版会	5月15日
6	教職実践演習ワークブック ーポートフォリオで教師力アップ	西岡加名恵・石井英真・川内亜弥子・北原琢也	ミネルヴァ書房	6月10日
7	ネットワークする活動理論 ーチームから結び目へ	ユーリア・エンゲストローム (山住勝広他訳)	新曜社	6月15日
8	多文化教育をデザインする ー移民時代のモデル構築	松尾知明 (編著)	勁草書房	7月25日
9	教育評価の本質を問う ー一枚ポートフォリオ評価OPPA ー一枚の用紙の可能性	堀哲夫	東洋館出版社	8月6日

【入・退会、年会費納入、会員 web 管理、会報、紀要発送等各種問い合わせ先】

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

株) 国際文献社内 日本カリキュラム学会会員窓口

TEL : 03-5389-6213

FAX : 03-3368-2822

E-mail: jscs-post@bunken.co.jp

【上記以外の学会運営に関する問い合わせ先】

〒112-8610

東京都文京区大塚 2-1-1

お茶の水女子大学 文教育学部 人間社会科学科 富士原紀絵研究室内

日本カリキュラム学会事務局本部

E-mail: jscs@nifty.com、FAX : 03-5978-5472

【学会ホームページ】

URL : <http://homepage3.nifty.com/jscs/>